



June **七夕**
6月28日

皆で「たなばたさま」を合唱したのち、折り紙で七夕飾りを作りました。短冊には患者さんご自身や周りの方の幸せを願う、思い思いの言葉をしたため笹の葉に取り付けて素敵な飾りが完成、特に織姫と彦星が、とても可愛く仕上がりました。参加者全員で作り上げたことで一体感が生まれ、楽しいひと時となりました。

July **夏祭り**
7月24日

「ワッショイ」の掛け声と手拍子の中、患者さんにはみこしに手をかけ、太鼓をたたいていただき、お祭り気分を感じていただけました。金魚すくいですくった色とりどりの折り紙金魚は各病棟にお持ち帰りになり、お部屋でも楽しんでいただきました。

August **盆踊り**
8月22日

浴衣とハッピー姿の職員で「炭坑節」と「東京音頭」を踊りました。小学生のボランティアによる和太鼓の生の音に、患者さんも身振り手振りですり参加され、とても盛り上がりました。

中には感激のあまり頬を濡らす方もいらして、一時の夏を感じていただけたこと、うれしく思いました。



記・ボランティアレクリエーション委員会

上尾市特定・後期高齢者健診10月31日迄
上尾市各種検診11月30日迄
人間ドック・各種健康診断実施中!!

予約制にて実施しております。事前にご予約の上、ご来院ください。昨年度と実施期間が変更になっている健康診査がございますので、ご確認頂き、早めの受診をお勧めいたします。なお、ご予約なく健診を希望される場合、待ち時間が長くなる可能性がありますので、予めご了承ください。

— お問い合わせ・ご予約 —

048-781-1902・048-781-1101
受付時間 月～土曜日 9時～17時(祝日を除く)

インフルエンザ予防接種のご案内

予約制となりますので、ご来院の前に必ずお電話をお願いいたします。

期間：10月21日～12月25日までの
祝日を除く 月・水・木・金曜日

時間：午前 9:30～11:30
午後 2:00～4:30

対象：①上尾市高齢者インフルエンザ
②16歳以上の一般インフルエンザ

実施日や時間については、今後変更の可能性があります。事前にお問い合わせください。



上尾養生病院
理念

療養環境を提供致します。
私たちは、良質で安全な医療と

オアシス
OASIS

2013年 秋号

医療法人一心会 上尾養生病院 季刊誌 ■ 印刷 <http://www.ageokousei.jp/> TEL:048-781-1101

私の目指す看護

皆さまこんにちは。私は4階の回復期リハビリテーション病棟で看護係長をしております、野原陽子です。病院内に保育所が有るという魅力に惹きつけられて上尾養生病院に入職してから、早や15年が経過しました。

高校時代にサッカー部のマネージャーをしていた私は、部員が元気に活躍できるように陰から支えることや、彼らの笑顔を見ることに喜びを感じていました。そんな私を看護師の道に導いてくれたのは母でした。病院で看護助手として勤めていた母は、いつも病院での患者さんとの出来事や看護師との仕事のやり取りを話してくれました。そして、「患者さんの一番近くにいるのは私たち看護助手で、看護師さんより早く患者さんの異変に気づくよ。でも、異変に気づいた私たちには何もできないから看護師さんと呼ぶだけ。患者さんに処置をできるのは資格の有る看護師さんだけだからね。あなたも何か資格をもつ仕事に就きなさい」と言うのでした。その母の言葉を聞きながら、患者さんを元気にできて自分も成長できる、しかも専門職である看護師という資格の有る仕事に魅力を感じた私は、生涯の仕事として歩むことを決めたのです。

私が看護師になって3年目に母が咽喉癌に侵されてしまいました。その時の母は、自分が癌になり手術で声帯を取らなければならないという大きな人生の転機を目の前にしても、心の中の不安や憤りといった感情を家族にさえずつけることもせず、現実を正面から立ち向かうほど心の強い人でした。ただ、一つだけ母が私に尋ねたこ

回復期リハビリテーション病棟
看護係長 野原 陽子



とがあります。医師から手術という治療法を言い渡された時に「手術をした方がいいんだよね」と問われ、私は「声を失っても命が大事でしょ」と返事をしました。娘として母の命が優先されることは当然のことであり、何の迷いもなく言葉を返したように思います。

その9年後に今度は食道癌が見つかり、主治医より以前の手術の合併症の影響で今度はリスクの高い手術となるとの説明を受けた母が決断した答えは、「障害が残ったらみんなに迷惑が掛かるから手術はしない。でも、あとどれくらい生きられるかな?」でした。私にはすぐに返事をすることができませんでした。涙をこらえながら「もっと自分のことを考えたいの」と言うのが精一杯だったのです。その後、他の手術法が提案されて治療を受けましたが、闘病の末、2年前に他界しました。病で悩む苦しむ人の言葉を素直に受け止め、その方の本心を察しながらその人らしく生きるためのお手伝いすることが看護師の役割であることを、こうした母との経験から私は学んだように思います。

回復期リハビリテーション病棟は、疾患が元で日常生活が不自由になった患者さんに在宅復帰、社会復帰を目指してリハビリに取り組んで頂くところです。患者さんはもちろん、ご家族の皆さまにも安心して日々のリハビリに励んで頂けるよう、そしてその人らしい生活が送られるよう支援させて頂きたいと願っております。ご心配やお困りのことがございましたらお声がけくださり、いつでもご相談頂ければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



2013年
秋号

通巻59号



8月3日、たんばぼ保育室夕涼み会が行われました。

不安定な天気の中で始まり…チャギントンのテーマのもと幼稚園児筆頭に元気良く音頭を踊り、皆で山車を引き盛り上がりも最高潮に。

おもちゃ・お菓子の屋台では、それぞれが思い思いにめぐり、楽しみました。終了間際には花火もあがりテンションUP!! 子供達の元気パワーで、いつの間にか曇もなくなり、皆で素敵な時間を過ごす事ができました。 看護師 秋山 奈緒美



去る7月20日、今年度の新入職員歓迎会を行いました。藤澤院長をはじめ沢山の職員の参加により、新入職員への質問コーナーやカラオケ大会、それに貝瀬看護部長のマジックショーも飛び出すなど、あっという間でしたが、楽しい2時間となりました。普段はあまり関わることの少ない職員同士の交流の場ともなり、新しい仲間と共に「これからも頑張ろう」と、気持ちを新たにできたひと時でした。

厚生部 神藤 美佐栄



平成25年10月25日発行

編集人 藤澤和彦

上尾睦生病院広報委員会発行

当病院の最新情報をお知らせします

作業療法は「こころ」と「からだ」のリハビリテーションです。

みなさん、こんにちは。今回は日常生活活動（Activity of Daily Livings（以下ADLと略））についてご紹介いたします。

ADLとは、私たちが日常生活する上で必要不可欠な活動のことを言います。リハビリテーションの目線から見たADLは、非常に中心的な基本活動として捉えられていて、作業療法に多く取り入れている活動です。患者さんご自身の生活に直結する活動なので達成感を見出しやすく、リハビリテーションに力を注ぐことにつながっています。次にADLの主な活動を図で示してみました。



作業療法は、その字の通り様々な作業を活用して心と身体の機能を維持、回復できるように導くリハビリテーションです。中でも私たちにとって一番身近な作業である上図の六つのADLを最も活用しているのです。この様に作業療法とADLには深い関係のあることがお分かりいただけかと思えます。

私たち作業療法士は、ADLを活用したリハビリテーションで、患者さんの在宅復帰につながるよう頑張っています。今後ともよろしくお願いたします。

次回はアクティビティーについてお伝えします。

リハビリテーション科 作業療法士 清水 佑哉

編集後記

木の葉も色づき、すっかり秋の気配が感じられる季節となりました。10月の別名は、「神無月」と言います。この時期は全国から八百万の神々が、ごぞつて島根の出雲大社に集まり、向こう一年の様々な神議（かむはかり）が執り行なわれます。各地の神々がなくなることから「神無月」と言われるのですが、逆の出雲地方では「神在月（かみありづき）」と称されます。

10月は一年の中で一番過ごしやすい季節です。皆さまには思い思いの秋を楽しまれることと思いますが、私もスポーツや読書などを楽しみたいと思っています。

広報委員 滝澤 マリ

